

仁賀保高校生の地域貢献活動を発表

～全国専門学科「情報科」研究協議会～



ロゴ制作の過程について発表する大坂芽衣さん(3年)

8月17と18日、全国専門学科「情報科」研究協議会が象潟シーサイドホテルを会場に開催されました。全国の情報関係学科の高校生と教員が、研究発表・情報交換をし、情報分野の人材育成につなげようとするもので、仁賀保高校の生徒・教員も研究発表を行いました。

同校情報メディア科の生徒たちは、同科が従来から行っている、各種イベントのロゴ・ポスター製作やCM大賞の取り組み、IP電話ネットワーク構築の研究などを発表しました。市内で行われるイベントなどに欠かせない同校の活動が語られ、大きな拍手を浴びました。

緊急時を想定した公開訓練

～災害対応型給油所：サンケンサービス㈱～

8月6日、サンケンサービス㈱・エネオス仁賀保北給油所が「災害対応型給油所」としてオープンし、横山副市長はじめ市関係者らを集め、緊急時を想定した公開訓練が行われました。

訓練では、設備や作業手順について説明を行った後、人為的に電力途絶状態とし、緊急用発電機の稼働による給油実施訓練を行いました。

同社と市は、4月に災害時等における石油類燃料の供給に関する協定を締結しており、同設備により災害等の停電時でも安定した給油が可能となります。

ふるさとを大切に

～ふるさと宣伝大使が図書の寄贈～

ふるさと宣伝大使の佐藤繁義さん(神奈川県在住：石名坂出身)から上郷小学校へ図書5万円分が寄贈されました。佐藤さんは、神奈川県内の小学校で「ふるさと」についての特別講義をしていて、その謝礼などを図書代に充てたものです。この講義は、ふるさとの実感のない小学生に、ふるさとがあることの素晴らしさと大切さを伝えようと、生活学習の一環で行われているもので、DVDなどにかほ市も紹介しているそうです。



「しらせ」のスクリューの羽

大きなスクリューの羽

～しらせのスクリューの羽が無償貸与～

7月29日、白瀬南極探検隊記念館に、昨年8月に退役した第3代南極観測船「しらせ」に使用したスクリューの羽が無償貸与されました。

この羽は、10年前までしらせに装着されていた1基4枚羽のうちの1枚で、千葉県内にある防衛省の倉庫に保管されていたものです。

同省が昨年12月に無償貸与先を募集していたため、しらせの名称の由来でもある南極探検隊「白瀬」中尉生誕の当市で、白瀬南極探検隊記念館で展示することを目的に借用を申し出たところ、今回の運びとなりました。

和やかな雰囲気での意見交換会

～知事と語る「村なか街かどミーティング」～

8月5日、杉山会館を会場に、市内の農家女性たちと佐竹秋田県知事が意見を交換する「知事と語る(村なか街かどミーティング)」が行われました。

女性たちの生き生き農業をテーマに、市内の農家女性たちで組織するグリーンレディースにかほや農家・漁家レストラン経営者など7名が農業などを始めたきっかけや家事・介護をしながら行う仕事の難しさなど、さまざまな意見を知事と語り合いました。意見交換の中では料理好きとして知られている知事が料理レシピを語る場面もあり、和やかな雰囲気での意見交換会となりました。



市内の農家女性たちと意見を交換しあう佐竹知事

旬の野菜、たくさんとれたよ!

～ニカホWin-S FC第29回夏山交流会「農業体験」～

農村にかほの魅力をより一層伝える、「グリーンツーリズムにかほ」の一環として8月1日、サッカー交流で訪問した夏山SC(横浜市)とニカホWin-S FCの5・6年生が合同でジャガイモとミニトマトを収穫する農業体験を行いました。

体験では、須田和夫(寺田)さんの転作田に植えられたジャガイモの収穫、また、釜ヶ台集落営農生産組合の皆さんのミニトマトハウスでは、トマトに関するクイズや収穫が行われ、たくさん収穫できたことに大満足の様子でした。今後もこのような活動を予定しています。



たくさん収穫した農産物を前に記念写真

秋田県代表として、水泳・手旗・結核・カッターの全競技に出場。手旗送受信競技では第1位でした。

▼総合
【第6位】

金浦小学校

第49回日本海洋少年団全国大会結果
8月1～3日/愛媛県松山市▼短歌部門
【大賞】

「変遷」山中律雄さん(院内)

日本詩歌句協会詩歌句大賞贈賞式

▼Bクラス
【優勝】戸坂春雄さん(鳥屋森)
【準優勝】土門信吾さん(大砂川)
【第3位】鈴木久三さん(中橋町)▼Aクラス
【優勝】清水信一さん(平沢)
【準優勝】土井出さん(鳥の海2区)
【第3位】木内寛さん(鳥の海2区)

観光協会会長杯将棋大会結果